



# みちくさ 放浪篇

No.18 平成 30 年 7 月 2 日

## フェイスブック・アカウントの乗っ取り



先週、フェイスブックでつながっているある方から、メッセージで突然連絡が入りました。

「今、忙しい？」とだけ・・・（「今」の文字の下部にはハイパーリンクがついていました）そんなに近しくお話をしたことのある方ではなく、仕事上でつながっていた方だったので、しばらく放置した後、「何でしょう？」とだけ返信しました。

そうしたら、慌てたように、本人から「私ではありません。なりすましです。すみませ

ん」と返信がありました。一瞬なんのことか分からなかったのですが、これはアカウントを乗っ取られたのかと。

ちなみに、web で検索してみると、「今忙しい？」というメッセージでアカウントの乗っ取りがあるようです。その手口はこのようです。

- ・自分の Line のアカウントが凍結されているので、他から認証して凍結を解除してもらいたいと要求。
- ・そのため電話番号を教えてくださいと言ってきて、番号を教えると Line の会社から4桁の認証コードを返してくるので、それも教えてくださいとってくる。
- ・ここまで教えた時点で Line のアカウントが凍結されて完全に乗っ取られる。

という仕組みらしいです。まあ SNS も様々なサービスがあるので、よく分からないのですが、例えばいつも携帯で Line をしているのに、本人がたまに PC から Line を使用すると、本人確認がされますよね。その仕組みを使っているのかと。

フェイスブックの乗っ取りから Line のアカウント乗っ取るという複雑なことらしいです。Line では実際にお金のやりとりが出来ますから、そっちの方で被害が出るのかも知れません。

ここで問題なのが、そもそもなぜフェイスブックが乗っ取られたかと言うことです。これは、パスワードの使い回しが考えられます。なんらかの原因で、他のパスワードが盗まれ、それと同じパスワードを使っていたフェイスブックが乗っ取られるという、実に巧妙なものが背景にあるのかと。

実は、私自身乗っ取られたわけではありませんが、今年の3月くらいに、いつも使っているクレジットカードの会社から郵便が来て、ある店舗からユーザーの個人情報漏れた可能

性があるので、そこに登録のあった人のカードを新しいものに切り替えると言ってきたことがありました。長年使ってきたカードの番号を変えるというのは、けっこう大変です。そのカードを使っているいろいろなサービスに、いちいちカード変更の手続きが発生しますからね。なにも変更手続きしないでおくと、引き落としができないとかで止まってしまうからね。

パスワードについては、私はこのようにしています。私の使っている様々なパスワードについては、一冊専用のノートを用意し、そこに全て手書きで記載するようにしています。そしてパスワードは、全くランダムに大文字小文字のアルファベットや数字が入り交じったもので、桁数も多くしています。そして一年に1回くらいは、パスワードを変更します。こうしておく、たぶん大丈夫かなと。心配なのはこのノートを紛失してしまわないかということです。うちのかみさんには、全てこのノートに書いてあるからと伝えてあるし、さらに突然自分が死んだときには、いろいろ困るだろうから、このノートからパスワードを調べろと。もちろん利用しているサービスの全てに違うパスワードを使っています。面倒なのは、パスワード入力を求められたとき、桁数が多いので面倒くさいことくらいでしょうか。

とにかく、歳とってくると、こういうIT系には疎くなってくるので、なんらかの対策はしておいた方が無難でしょう。

## 万引き家族

話題の映画を観てきました。なかなか考えさせる場面もありましたね。気になったところは、樹木希林扮するおばあちゃんが、海辺のシーンでなにか口ばくでしゃべるところ。そして少年が最後の方でバスに乗ったとき、やはりなにか口ばくのシーンがありました。また最後の最後で、女の子がビー玉で遊んでいる場面で数え歌みないなものを口ずさみます。これは全く手をかけてくれない母親が教えるわけではないし、誰が教えたんだろうということ。



おばあちゃんの口ばくは、死期をさとして、家族への感謝を述べた？少年は、最後にリリー・フランキー扮するどうしようも無い男に対して、最後に「おとうさん」と呼べたのか。また女の子の数え歌はおばあちゃんから教わったのでは無いか。

まあ、かなりこちらの勝手な解釈なので、当たっているかどうかは確かめようもありません。誰一人として血がつながっていない5人が、一つ屋根の下に家族として暮らす。そういう極限のような状態で、本当の家族って何なのか。それを十分考えさせる映画になっていました。でも、この日本独特の雰囲気というか、台詞の言い回しなど、外国で翻訳された画面で通じるのかなと思いました。賞をとった作品ではありますが、不思議に思いました。